

今夜7じより

市民館3階

(成層ウチ・改修し公園前)

日曜日

みんなで作るみんなの会館

夏祭り) 期間中に 三角公園内で

4万6千7百え+6円 のカンパがありました。

# 夜間学校

釜ヶ崎夜間学校

釜ヶ崎夜間学校

釜日労・争議団気付

## 夏祭りをふりかえり

### アンケート(仲間の生々・意見)に

### ついて話合おう

夏祭りが、雨で流れることなく、十五日の音楽がやや不評だったのを除けば、連日、大好評、大盛況のうちにあつた。

われらがつくる、われらの会館へのカンパが四万六千七百二十六円あつた。目標額には遠く及ばないが、仲間の精一杯のカンパだと

仲間の生々・意見

ための 仲間の調査

三十名以上の回答者があり

すべての質問に答えられ

た人は、目標の百名に達し

初めての試みとしては大

功だったと思う。

このように、様々な

が一定の成果をあげられ

たのは、釜の労働者の力

ろんのことだが、支援、協力してくれた、学生、市民、労組活動家など、多くの人の力のたまものであると思

夏祭りを行なうのに、参加する、見るだけの、を含めて、なんと多くの人の力がいることか。

今回の夜間学校は、夏祭りの良かった点、まず良かった点を話合ふと共に、今回のアンケートは、どういった意味を持ち、どのようなものだったのか、改めて考えたいと考えている。

アンケートは、センターに乗り入れた勝利号の中、あるいはその周辺、そして三角公園で、集められた。

アンケートを完全にすすめるためには、一人最低でも一時

時間近くかかっている。聞かれる方には、お礼、職歴とせ、結婚、離婚歴など、なんでもそんなことまで、というより、な頃目もあり、聞く方もかなり緊張して、とりかかったが、ほとんどの人がバよく答えてくれた。

アンケートに協力してくれた仲間の気持ちをも、無にしないためにも、アンケートに対してのまとめ、集約についても、みんなの意見を組み入れておこないたい。

ぜひ、多くの仲間が参加され、自分自身のこれまで生きてきた過程を重ぬ合せながら、アンケートのまとめを

個人としても 集団としても

# わしらが釜ヶ崎の主人公

## になるためには

夜間学校 (7月3日) 報告

夜間学校ではこの間、「釜の主人公は誰か」という話合ができた。「そんなこと話し合わなくともわかりきっているのではないか。釜の主人公はわしらが労働者だ。」という話合に落ち着くだろうと予想されたが、実際に話し合ってみると、そう明解に言いきれるものでもないことがわかった。「釜の主人公はわしらが労働者だ」と言いきりた

いのだが、その前に考えをわねばならないことがいろいろとあるのだ。

### 「釜の主人公」の定義

確かに、わしらが労働者はこの釜ヶ崎では多数派であり、漢大なカネを落としている。その意味では、わしらが釜の主人公であるといえる。しかし、それは

個人としてもしか、わしらが主人公であるといえる。しかし、それは個人としてもしか、わしらが主人公であるといえる。しかし、それは

釜ヶ崎労働者二万人は確かに釜の主人公であるかもしれないが、ひとりひとりの労働者が釜の主人公であるかどうかはまた別の問題だ。

### 自分を主張できる根拠

では、わしらが個人として自分は釜の主人公であると主張できる根拠は何だろうか。

「資本家に働かせるにしている。二人ですべて仕事を一人ですせられたり、ピンハネされたり。」「わしらが仕事にいかなければ人夫出しももうからない。」

このように、わしらは個人としても社会に貢献している。それはわしらがひとりの労働者として自分を主張できる根拠である。しかし、やうであるにもかかわらず、現実にはわしら一人一人が釜の主人公であるとはいえない側面がある。ドヤ、商店

さまざまの行政機関とのわしらのとり扱われ方を考えると、どうもわしらが個人として釜の主人公であるとはいえない。切れないのち。

### 個人としても 集団としても わしらが釜の主人公になるためには

すると、「釜の主人公はわしらが労働者だ」と言いきりた。わしらがひとりの「生き方」が問題になるだろう。

たとえは、夜間学校でもとつくろのはいのことだと思いが、他の人は賛成しないだろう。しかし、このいい方はあかしのではないか。自分がいいことだと思ふのであれば、他の人がなるといおうと、自分の思ったことをつらぬくのがほんとうではないか。